

開運方位実践セミナー

奇門遁甲と九星気学併用のススメ

中国の歴史

よく中国の歴史5000年と言われます。特に中国ではこの5000年説が一般的に認知されているようですが、これは天地開闢の創世神とされる盤古の神話時代から数えて5000年とされているようです。

古代中国の神話伝説時代に8人の帝王三皇五帝がいたと考えられていて、このうち三皇は諸説ありますが伏羲、女媧、神農の3名で、神話的な存在です。神農を継ぐものとして黄帝が登場します。この黄帝が古代中華文明の始まりの君主であるとされています。黄帝は黄帝内経を書いたとされていて、黄帝内経は東洋医学の始まりということで、漢方や鍼灸の源流と理解されています。ちなみにユンケル黄帝液は黄帝にちなんでネーミングされているそうです。

五帝の筆頭が先の黄帝で、次に顓頊(せんぎよく)・帝嚳(ていこく)・堯・舜と続きます。これも諸説あります。五帝に続くのが禹を始祖とした夏王朝で、夏王朝は古代中国で最初の王朝とされています。ただ夏王朝の存在について未だ議論されているようなのですが、現代の中国史・考古学界では夏王朝はほぼ実在したものと見なされているようです。この夏王朝は年代的には紀元前2070年から1600年頃とされています。

夏王朝の次が商王朝。殷の呼び方が有名だと思います。この殷は多くの青銅器や甲骨文字が出土されていて、黄河流域で始まった考古学的に実在が確認されている最初の王朝となります。殷では殷の次が周で年代では紀元前1046年から256年の期間となり、西周王朝(紀元前1045-771年)、春秋期(紀元前770-476年)、戦国時代(紀元前475-221年)の3つに分かれます。部族社会から封建社会への移行期でこの時代に儒教や道教などの伝統的な中国哲学が出現することとなります。

東洋占術の根幹となっている陰陽五行思想は、春秋戦国時代ごろに発生した陰陽説と五行説、それぞれ無関係に生まれた考え方が後に結合した思想であるようです。伝承は諸説あり、タイムマシンで確認できるわけではないので、はっきりしたことはわかりませんが、陰陽五行思想が生まれる背景をざっくりご案内した方がよいと思いご案内しました。

奇門遁甲の歴史

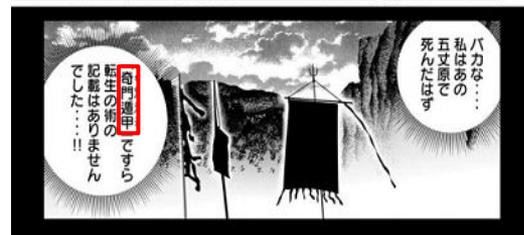
奇門遁甲(きもんとうこう)は、中国の占術です。伝説によると黄帝が蚩尤との戦いに苦戦した時に天帝から授けられたとされます。周の呂尚(太公望)や前漢の張良、三国時代の蜀の諸葛孔明、明の劉伯温に伝わったとされます。太公望、張良、諸葛孔明、劉伯温は軍師の位置づけにあります。兵法としては春秋時代に書かれたとされる孫子が有名ですが、孫子の中に奇門遁甲の用語が使われているので、奇門遁甲の原型は実際に兵術として使われていたのかもしれませんが。

形篇 :よく守る者は **九地**の下に隠れ、よく攻める者は **九天**の上に動く。

三国時代の魏の曹操は「孫子」の解説書「魏武注孫子」を編纂しています。

奇門遁甲と言えば諸葛孔明というイメージは「三国志演義」によるところが大きいと思われれます。三国志演義は明時代(1368年~1644年)に書かれた通俗歴史小説で、史実3割、創作7割と言われるエンタメ作品。現代でいうなら「キングダム」みたいなものだと思います。三国志演義は成立までに変遷があり、3世紀末に成立した歴史書「三国志」以降の時代の講談や逸話、雑劇(中国の古典的な演劇)の要素を吸収し、明代に作品として完成したとされています。ちなみに中国元末・明初期の劉伯温(劉基:1311年7月1日~1375年5月16日)が、三国志演義の諸葛孔明のモデルじゃないかとも言われています。

明代に張良、諸葛孔明著とされるものを劉伯温が編纂したとする「奇門遁甲全書」という文献があるのですが、本日も案内するのはこの劉伯温の伝承を元にした奇門遁甲となります。



陰陽五行思想の日本渡来

陰陽五行思想がいつ伝わったのかはよくわかりません。記録としては西暦 602年に、百済の僧観勒が天文、遁甲、曆書を伝えたと「日本書紀」に記されていますが、それ以前の 5世紀に倭の五王が訪中したと中国側での記録があるので、この時期には既に伝来していたものと思われる。天武天皇は 7世紀の人ですが、自ら天文や遁甲に通じていたようで、天武天皇により陰陽寮が設置されました。その後、陰陽五行思想をベースに原始神道や修験道、儒教、道教、仏教の影響のもと、10世紀以降に賀茂保憲や安倍清明が代表とする陰陽道が形成されます。奇門遁甲に関しては、戦国時代に、日本の風土に合わせて改変された奇門遁甲が使われていたようです。その後、江戸時代には明代・清代の風水書が多数輸入され研究の対象となり、方鑑学へとつながっていきます。

江戸時代の方鑑学

18世紀～19世紀の江戸時代の方鑑学の両雄として松浦東鷄と松浦琴鶴が登場します。琴鶴は東鷄の甥です。中国風水では巒頭(らんとう/目に見えるもの/地形など)と理気(りき/目に見えないもの/陰陽五行・八卦・方位など)がセットになっていますが、方鑑学は家相判断を中心とする学問として形成されます。中国の風水書を研究しながらもつぱら理気の家相に注目し、巒頭にはほとんど触れていないのが特色です。方鑑学を理解するには易、陰陽道の知識が必要とされました。東鷄は干支を重視する家相学を唱えていましたが、琴鶴は叔父東鷄の家相学を学びそれを究めながらも、後に九星を重視するようになり、東鷄の元を去って独立し、一派を形成することとなります。

九星気学の歴史

九星気学は、園田真次郎が大正 13年(1924年)に、日本で流行っていた九星方鑑学(江戸時代の松浦琴鶴の系統の九星を用いる方鑑学の流派)をベースに九星術を気学(九星気学)として簡略化してまとめたものとされています。

なぜ占いの歴史？

長々と歴史の説明をしたのには意味があります。占いは時代や地域に大きな影響を受けています。時代や地域が変わると、文化が変わり、価値観も異なってきます。奇門遁甲の方が中国本場由来だからと重視する向きもありますが、ここは日本ですから、日本文化の上で成立した九星気学を軽視すべきではないのではと思っています。また、成立の歴史を知ること、占いを絶対視することを回避し、吉凶に縛られることなく、占いを主体的に活用することができるのではないかと考えています。

占いで開運するために大切なこと

占いは天文や天文より生まれた暦などを利用して、見えない世界を読み取ろうとする手段なのではないかと私は考えています。チャートや命式はシンボルで表現されていて、シンボルにはポジティブな意味、ネガティブな意味がそれぞれあります。シンボルのどの意味をどう受け取るか、どう解釈するかはその人次第です。受け取り方、解釈の仕方です。その後の運命と現実が変わってきます。そこで大事になるのが、自分の本音を知り、必要な情報を取り入れて選択し、主体的に行動することです。この一連のプロセスの「行動」に「奇門遁甲と九星気学」がとても使いやすいのではないかと考えています。

自分の本音の願い、魂の望みを知る

- ① 自分を知る(命術系の占いはその大きな手がかりとなる)
- ② 自分を受け入れる(同じ事象であっても受け取り方は人それぞれ)
- ③ **選択と行動を繰り返す⇒習慣(奇門遁甲と九星気学)**
- ④ 自分が大好きになる
- ⑤ 自分の本当の望みを知る(生まれる前に決めてきたこと。使命、お役目)

奇門遁甲・九星気学実践のおススメアプリ



九星方位ナビ

自宅からの吉方位取りだけならこれのみで OK !

デフォルトのまま使用して問題ありませんが、設定で「30度補助線」を ON にすると使いやすいと思います。



あちこち吉方位マップ

お出かけ先から方位を確認したい時に便利なアプリ

偏角:「設定しない」を選択してください

包圍戦の種類: 奇門遁甲⇒風水 45/45

: 気学 30/60、12方位



奇門遁甲

東洋占術あるあるですが、奇門遁甲にも流派が数多くあります。流派が違くと吉方位も異なる場合があります。どちらが正統であるとか、優劣を競うものではありません。まずはご自身で効果が出るかどうかを試して頂くのが一番です。

奇門遁甲では暦より九星気学と同じ九星(紫白)作盤上に、天盤干、地番干、八門、天蓬九星、八神を重ねていきます。

南東	南		南西
時盤:23/10/02 07時 7時			
陰4局 旬首[癸]			
庚 戊	丙 死	七 陳	丁 壬
柱 驚		三 合	丙 庚
心 開		五 陰	
I 入		太 使	
丙 奇		蓬 一	
辛 丁		休 蛇	
壬 己	英 景	六 雀	乙 乙
八		西	
戊 甲	輔 社	二 地	己 辛
冲 傷		四 天	甲 丙
任 生		九 符	
青龍返首		北西	
北東	北		北西
東			西

奇門遁甲は別名八門遁甲とも言われ、八門を最も重視します。特に生門、休門、開門は三吉門とされます。**生門、休門、開門は吉。景門は中吉。**他は凶門となります。

- 開門:** 仕事運 開放、公平、地位、プライベートには不向き
- 休門:** 愛情・健康運 休息、安定、集中
- 生門:** 金運 財運、活気、発展、積極
- 傷門:** 狩猟運 粗暴、ケガ、捕獲、逮捕、借金は吉
- 杜門:** 潜伏運 小心、猜疑心、避難、逃亡
- 景門:** 試験運 **文章、華美、著作、口論と浪費に注意**
- 死門:** 埋葬運 停止、頑固、葬儀
- 驚門:** 驚愕運 驚き、ハプニング

全国主要都市標準時時差

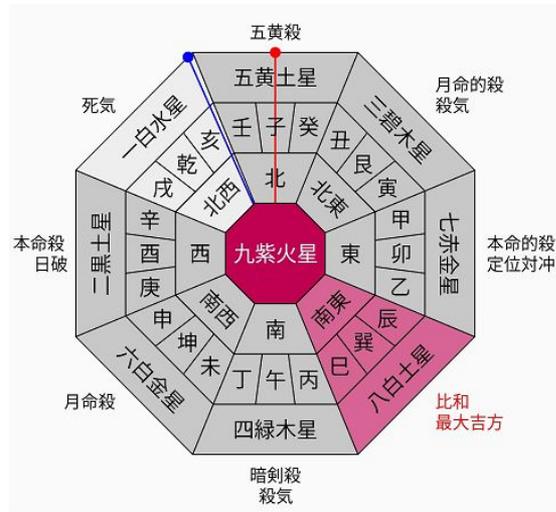
都市	時差	標準時午時	自然時午時
札幌	+25分	11:00~13:00	10:35~12:35
秋田	+20分	11:00~13:00	10:40~12:40
仙台	+22分	11:00~13:00	10:38~12:38
宇都宮	+18分	11:00~13:00	10:42~12:42
東京	+18分	11:00~13:00	10:42~12:42
新潟	+15分	11:00~13:00	10:45~12:45
長野	+12分	11:00~13:00	10:48~12:48
静岡	+12分	11:00~13:00	10:48~12:48
名古屋	+7分	11:00~13:00	10:53~12:53
金沢	+5分	11:00~13:00	10:55~12:55
奈良	+35分	11:00~13:00	10:58~12:58
大阪	+2分	11:00~13:00	10:59~12:59
高知	-6分	11:00~13:00	11:06~13:06
岡山	-5分	11:00~13:00	11:05~13:05
広島	-10分	11:00~13:00	11:10~13:10
山口	-16分	11:00~13:00	11:16~13:16
福岡	-19分	11:00~13:00	11:19~13:19
鹿児島	-19分	11:00~13:00	11:19~13:19
長崎	-22分	11:00~13:00	11:22~13:22
那覇	-30分	11:00~13:00	11:06~13:06

自然時

日本標準時は東経135度兵庫県明石市の自然時を採用しています。
 明石市より東は経度1度ごとにプラス4分。
 西は経度1度ごとにマイナス4分。
 全国主要都市標準時時差をご参照ください。
 30分以上滞在すると拠点が切り変わります。

中心時を使う

2時間刻みのうち、できるだけ中心に近い時間で実施してください。
 東京であれば、自然時は標準時より18分先に進んでいますので
 午時の場合、中心時は11時42分頃となります。



時盤(吉方位散歩)

時盤:23/10/02 07時		7時	
陰4局 旬首[癸]		[X]	
庚 戊	丙 死	七 陳	丁 壬
壬 己	英 景	六 雀	乙 乙
戊 甲	輔 杜	二 地	己 辛
		冲 傷	四 天
		甲 丙	任 生
			九 符
			青龍返首

奇門遁甲盤の見方

まずは色で判別し、吉ポイントの高い 1.青、2.緑、3.黄色で開門、休門、生門、景門 の方角を使用してください。他の門は使い方がとても難しいので、吉方位取りとして使わない方がよいです。

	青 大吉 開門、休門、生門、景門で吉。傷門、杜門、死門、驚門使用可
	緑 中吉 開門、休門、生門、景門で吉。傷門、杜門、死門、驚門使用可
	黄 小吉 開門、休門、生門、景門で吉。傷門、杜門、死門、驚門使用可
	桃 凶 青緑黄方位が使用できない場合、開門、休門、生門、景門使用可
	赤 大凶 使用しないのが無難

時盤使用時の注意(散歩)

500m以上、5分以上移動してください。

目的地では5分以上滞在後はどの方向へ行っても構いません。

徒歩意外の自転車、自動車、電車での移動の場合は

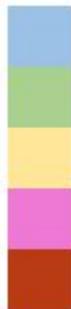
5分以上の運転または乗車し、目的地で自動車や電車から降りて

その場に足をつけて5分以上滞在してください。

日盤(旅行)

10月15日丙午

日盤:2023/10/15		10/15						
陰6局 旬首[壬]								
戊 庚	心 景	五 地	癸 丁	蓬 死	一 雀	丙 甲	任 驚	三 陳
	反吟	騰蛇	反吟	妖	矯	丙 飛	奇 鳥	使 得 穴
乙 辛	柱 杜	四 天	己 己	六	辛 乙	冲 開	八 合	
	反吟	青龍	逃	走	殿	反吟	白虎	猖
甲 丙	内 傷	九 符	丁 癸	英 生	二 蛇	庚 戊	輔 休	七 陰
	反吟	青龍	返首	朱	雀	投	江	反吟



- 青 大吉 開門、休門、生門、景門で吉。傷門、杜門、死門、驚門使用可
- 緑 中吉 開門、休門、生門、景門で吉。傷門、杜門、死門、驚門使用可
- 黄 小吉 開門、休門、生門、景門で吉。傷門、杜門、死門、驚門使用可
- 桃 凶 青緑黄方位が使用できない場合、開門、休門、生門、景門使用可
- 赤 大凶 使用しないのが無難

日盤使用時の注意(旅行)

50Km以上、1時間以上移動してください。
目的地では4時間以上滞在し、吉方位先で飲食をしてください。
その場で食べられない時は持ち帰って自宅で食べても構いません。
宿泊する場合は23時前(自然時)に就寝しましょう。

九星気学との違い

奇門遁甲では個人の生年月日を使用しません。
家族や友人と同じ方位を使用できます。

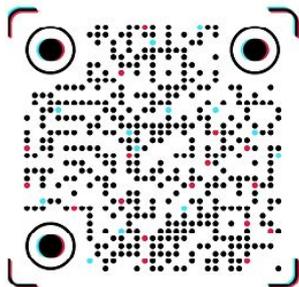
引越しについて(参考)

奇門遁甲と九星気学の併用は可能ですが、方法が大きく異なります。
奇門遁甲では家の向き(座向)と移転時の方位で判断し、生年月日は使用しません。

奇門遁甲時盤

卯時(5~7時)辰時(7時~9時)

翌日分を前日夕方に公開しています



TikTok

[https://www.tiktok.com/
@ruriyamada999](https://www.tiktok.com/@ruriyamada999)



instagram

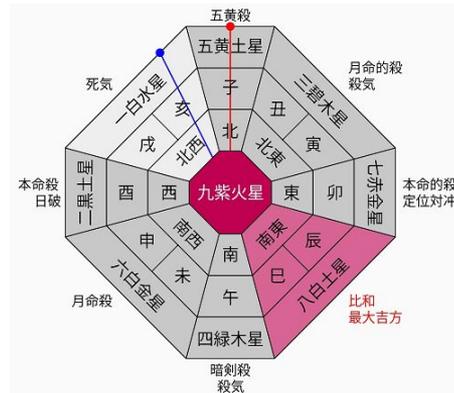
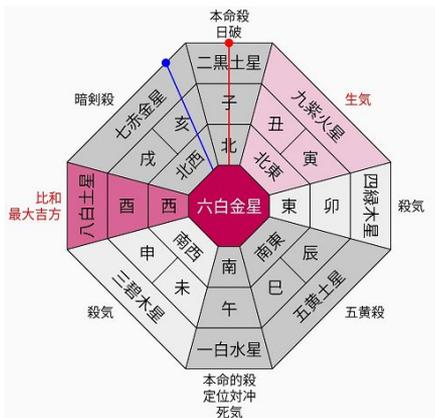
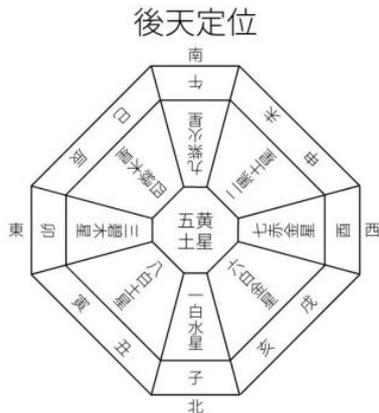
[https://www.instagram.com/
ruri_yamada5/](https://www.instagram.com/ruri_yamada5/)



youtube

[https://www.youtube.com/
@uranai-world/](https://www.youtube.com/@uranai-world/)

九星気学



日盤吉方位取り(散歩)

アプリの濃ピンク(最大吉方)か薄ピンク(吉方)の方角へ自宅半径750m以上歩き、その地の水、火で気を取り入れます。具体的には吉方位先のカフェやコンビニ、自販機等で飲み物(ホットかアイス)を入手して飲みます。お湯を沸かすあるいは冷蔵庫で冷やすことで火を使ったとみなしますので常温ではダメです。飲み物を飲みながら、その場に20分ほど滞在してください。これでその日の吉がとれます。日盤吉方は翌日には繰越せませんので、朝の時間帯に行うとその日の吉を長く取り込めるということになります。

この吉方位取りの効果は距離や時間の長さではなく、実行した回数に左右されます。奇門遁甲も同様です。奇門遁甲では30分滞在すると新たなスタート地点が始まると考えますので、九星気学の日盤吉方の滞在時間は20分程度にしておくのがちょうどよいかもしれません。

セミナーのご参加ありがとうございました

本日のスライドPDF
10月16日～11月12日の日盤、時盤
【九星気学】方位がもたらす現象

以下からダウンロードお願いします

<https://onl.la/TbiePAA>

PW:kaiun1014